



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東  
コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松原 さや子 (TEL) 052-218-8785  
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	104	16.5	△318	—	△320	—	△320	—
2023年12月期第1四半期	90	△18.0	△101	—	△101	—	△97	—

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 △320百万円 (—%) 2023年12月期第1四半期 △101百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△9.99	—
2023年12月期第1四半期	△3.14	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	2,117	958	45.3
2023年12月期	2,373	1,279	53.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 958百万円 2023年12月期 1,279百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400	△6.6	△1,500	—	△1,510	—	△1,510	—	△47.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	32,128,012株	2023年12月期	32,128,012株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	286株	2023年12月期	286株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	32,127,726株	2023年12月期1Q	31,181,731株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たったの注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7
(重要な後発事象) .....	8
3. その他 .....	8
継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

上市品（眼科手術補助剤「DW-1002」（単剤及び配合剤）、緑内障治療剤「グラナテック<sup>®</sup>点眼液0.4%」、緑内障治療剤「グラアルファ<sup>®</sup>配合点眼液」）については、ライセンスアウト先において順調に販売されております。

開発パイプラインについては、共同開発品である神経疼痛治療薬「DW-5LBT」が1月に再申請を行い、審査終了目標日は2024年7月11日に設定されました。また、再生医療用細胞製品「DWR-2206」は3月に国内第Ⅱ相臨床試験の治験計画届書を独立行政法人医薬品医療機器機構（PMDA）に提出し、患者投与開始に向けて準備を進めております。その他、ライセンスアウト済み開発品及び自社開発品についてもそれぞれ開発を進めました。

研究プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び他社との共同研究を推進いたしました。

以上の結果、売上高については、各上市品のロイヤリティ収入等により、合計104百万円（前年同期比16.5%増）を計上し、売上原価に9百万円（前年同期比24.5%増）を計上しました。

販売費及び一般管理費については、414百万円（前年同期比125.6%増）となりました。その内訳は、研究開発費が「H-1337」及び「DWR-2206」の開発費用の増加等により346百万円（前年同期比206.5%増）、その他販売費及び一般管理費が67百万円（前年同期比4.2%減）となりました。

これらにより、営業損失は318百万円（前年同期営業損失101百万円）、経常損失は320百万円（前年同期経常損失101百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は320百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失97百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下のとおりです。

## ①上市品

製品名等		対象疾患	地域	ライセンスアウト先	
DW-1002	ブリリアントブルー-G	ILM-Blue <sup>®</sup> 、TissueBlue <sup>™</sup>	内境界膜染色	欧州・米国等	DORC
	ブリリアントブルー-G/トリパンプルー	MembraneBlue-Dual <sup>®</sup>	内境界膜、網膜上膜及び増殖硝子体網膜症における増殖膜染色	欧州等	
リパスジル塩酸塩水和物		グラナテック <sup>®</sup> 点眼液0.4%	緑内障・高眼圧症	日本、アジア(注)	興和
リパスジル塩酸塩水和物/ブリモニジン酒石酸塩		グラアルファ <sup>®</sup> 配合点眼液	緑内障・高眼圧症	日本	

(注) アジア一部地域において上市されております。

## ②開発パイプライン

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先	
K-321	リパスジル塩酸塩水和物	フックス角膜内皮変性症	第Ⅲ相臨床試験	米国、欧州等	興和
DW-1002	ブリリアントブルー-G	内境界膜染色	申請	中国	DORC
		水晶体前嚢染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬
	ブリリアントブルー-G/トリパンプルー	内境界膜及び網膜上膜染色	申請準備中	日本	
DW-1001	眼科用治療剤（非開示）	第Ⅰ相臨床試験	日本	ロート製薬	
H-1337	緑内障・高眼圧症	後期第Ⅱ相臨床試験	米国	自社開発	
DW-5LBT	帯状疱疹後の神経疼痛	申請	米国	メドレックスと共同開発	

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
DWR-2206	水疱性角膜炎	第Ⅱ相臨床試験	日本	アクチュアライズと共同開発

### ③研究プロジェクト

当社グループは、プロテインキナーゼ阻害剤を中心とした新薬候補化合物の創出を行っております。プロテインキナーゼを対象とする疾患は様々ですが、特に眼科関連疾患に注力した研究を推進しております。また、自社の創薬基盤技術を活かし、他社との提携を積極的に推進しております。

主なプロジェクトとしては、眼科関連疾患や神経系、呼吸器系疾患等を対象としたシグナル伝達阻害剤開発プロジェクトを当社研究所（国立大学法人三重大学の研究施設）において行っております。また、共同研究として、ユビエンス株式会社との標的タンパク質分解誘導薬プロジェクト、ラクオリア創薬株式会社との眼疾患治療薬創製プロジェクト等、複数のプロジェクトを進めております。

### （2）財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末から256百万円減少し、2,117百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から251百万円減少し、1,886百万円となりました。主な要因は、前渡金が213百万円増加した一方で、現金及び預金が479百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から4百万円減少し、230百万円となりました。主な要因は、有形固定資産が6百万円増加した一方で、契約関連無形資産が10百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から64百万円増加し、1,158百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から39百万円減少し、154百万円となりました。主な要因は、未払金が42百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から104百万円増加し、1,003百万円となりました。要因は、長期借入金が104百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から320百万円減少し、958百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が320百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は45.3%となりました。

### （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期連結業績予想につきましては、2024年2月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,867,264	1,387,578
売掛金	117,144	152,182
貯蔵品	87,863	84,842
前渡金	17,192	230,570
その他	48,495	31,775
流動資産合計	2,137,959	1,886,949
固定資産		
有形固定資産	10,010	16,224
無形固定資産		
契約関連無形資産	82,285	72,000
その他	4,224	3,990
無形固定資産合計	86,510	75,990
投資その他の資産		
その他	150,191	150,130
貸倒引当金	△11,301	△11,924
投資その他の資産合計	138,890	138,205
固定資産合計	235,411	230,420
資産合計	2,373,371	2,117,369
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	9,524	14,286
未払金	161,362	118,970
未払法人税等	11,708	5,158
その他	11,412	16,312
流動負債合計	194,008	154,727
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	606,122	606,122
長期借入金	269,476	373,714
その他	24,000	24,000
固定負債合計	899,598	1,003,836
負債合計	1,093,606	1,158,564
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	831,617	831,617
資本剰余金	2,889,857	2,889,857
利益剰余金	△2,442,372	△2,763,226
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,279,101	958,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△36	△142
その他の包括利益累計額合計	△36	△142
新株予約権	699	699
純資産合計	1,279,764	958,805
負債純資産合計	2,373,371	2,117,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	90,000	104,819
売上原価	7,331	9,128
売上総利益	82,668	95,690
販売費及び一般管理費		
研究開発費	113,175	346,863
その他	70,578	67,622
販売費及び一般管理費合計	183,753	414,485
営業損失(△)	△101,085	△318,795
営業外収益		
受取利息	6	4
為替差益	1,201	2,645
その他	11	14
営業外収益合計	1,219	2,664
営業外費用		
支払利息	626	869
株式交付費	665	—
貯蔵品廃棄損	—	2,748
その他	172	704
営業外費用合計	1,464	4,323
経常損失(△)	△101,330	△320,454
税金等調整前四半期純損失(△)	△101,330	△320,454
法人税、住民税及び事業税	398	398
法人税等合計	398	398
四半期純損失(△)	△101,729	△320,853
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,867	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△97,861	△320,853

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純損失(△)	△101,729	△320,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	△106
その他の包括利益合計	94	△106
四半期包括利益	△101,634	△320,959
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△97,766	△320,959
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,867	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
減価償却費	11,491千円	11,983千円

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年3月31日）

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

**（重要な後発事象）**

（譲渡制限付株式報酬としての新株式発行）

当社は、2024年4月11日開催の取締役会において、下記のとおり新株式の発行を行うことについて決議し、2024年5月8日に払込が完了いたしました。

**1. 発行の目的及び理由**

当社は、2018年2月15日開催の取締役会において、当社の取締役（社外取締役を除く）及び当社子会社の取締役（社外取締役を除く）が、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めるため、当社の取締役（社外取締役を除く）及び当社子会社の取締役（社外取締役を除く）に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下、「本制度」）を導入することを決議いたしました。

また、2023年3月30日開催の第25期定時株主総会において、本制度に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）及び当社子会社の取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額60百万円以内として設定することにつき、ご承認をいただいております。

**2. 発行の概要**

払込期日	2024年5月8日
発行する株式の種類及び数	当社普通株式147,500株
発行価額	1株につき119円
発行総額	17,552,500円
資本組入額	1株につき59.5円
資本組入額の総額	8,776,250円
募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
割当対象者及びその人数並びに割当株式数	当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く）2名に対して130,700株当社子会社の取締役（社外取締役を除く）4名に対して16,800株
譲渡制限期間	2024年5月8日～2027年5月7日
その他	本新株発行については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。

**3. その他****継続企業の前提に関する重要事象等**

当社グループは、創薬研究及び臨床開発費用が収益に先行して発生する等の事業特性上の理由から継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況の解消を図るべく、当社グループは保有する開発パイプラインの順調な開発進捗による早期上市、開発パイプラインの拡充による更なる収益機会の獲得を進め、さらに、現在実施している資金調達を進めることにより研究開発に必要な資金を確保するとともに、必要に応じて新たな資金調達等を実施することも検討してまいります。

資金面においては、継続的なロイヤリティ収入及び開発費用のコントロール並びに主力金融機関及び投資会社との良好な関係のもと適時に実施している資金調達により、当第1四半期連結会計期間末において1,387百万円の現金及び預金残高を有し、当面の事業活動を展開するための資金は確保できております。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。